

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

☎ 0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 1GL

1 609 92A 1GL (2015.12)

バンドソー

GCB 120 型 (本体のみ)

GCB 120B 型 (本体+ベース)

GCB 120Base 型 (ベースのみ)



取扱説明書

このたびは、弊社バンドソーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお
使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
バンドソーについての注意事項	8
●本製品について	
用途	11
各部の名称	12
仕様	14
標準付属品	15
●使い方	
作業前の準備をする	16
作業する	28
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	41
修理を依頼するときは	42
●お手入れと保管	
クリーニング	43
鋸刃のお手入れ	43
保管	44

ご安全
注意の

本製
品に
てに

使
い
方

困
った
とき
は

保
お
手
入
れ
と
管

安全上のご注意

ご安全 注意の 意の

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

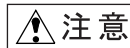
警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。今回お買い求めいただいたバンドソーには、当てはまらない項目も含まれています。

 **警告**

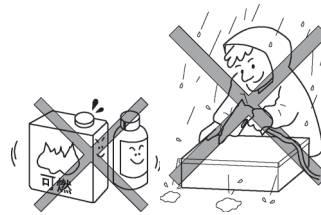
1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



ご安全
注意の

2. **作業場の周囲状況も考慮してください。**

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. **感電に注意してください。**

- ◆ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. **子供を近づけないでください。**

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

6. **無理して使用しないでください。**

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

7. **作業に合った電動工具を使用してください。**

- ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

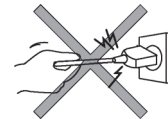
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

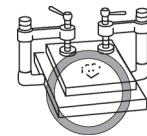
12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。



ご安全
注意の

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

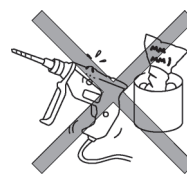
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。



22. 異常や故障時には、直ちに使用を中止し、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに、点検、修理を依頼してください。

そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチを入れても動かない。 など

23. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

24. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはポツシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。

修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

ご安全
注上
意の

この取扱説明書は、大切に保管してください。

バンドソーについての注意事項

ご安全
注意の

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、バンドソーをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。




警告

1. 必ず銘板に表示してある電圧の電源で使用してください。
 - ◆ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 保護カバーを開けたままで鋸刃を起動させないでください。
 - ◆ 鋸刃に身体を巻き込まれたり、鋸刃が外れたりして、けがの原因になります。
3. 使用中に振り回されないよう、バンドソー本体を確実に保持し作業してください。
 - ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、鋸刃や切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。また、材料の下に手を入れないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
5. 取扱説明書に記載されている用途以外、または能力以上の作業に使用しないでください。
 - ◆ 発煙・発火の原因になります。
6. 使用中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはポッシュ電動工具サービスセンターに点検、修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

7. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、鋸刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

ご安全
注意の

 注意

1. 鋸刃や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。

2. 曲がったり、摩耗したりした鋸刃は使用しないでください。

◆ 鋸刃が破断したり、キックバックが発生したりする危険があります。

3. 鋸刃に潤滑剤やオイルを付けしないでください。

◆ 鋸刃が滑る原因になります。

4. 鋸刃や鋸刃取り付け部の切り粉などを、拭き取ってください。

◆ 鋸刃が外れたりして、けがの原因になります。

5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

◆ 材料や本体などを落としたとき、事故の原因になります。

6. 作業中は、必ず絶縁されたグリップ面で本体を保持してください。

◆ 通電している電線に接触し、本体の金属部に電気が流れると、感電の恐れがあります。絶縁部で保持していると、感電する危険が小さくなります。

7. 完全に停止してから、台や床などに置いてください。

◆ 完全に停止してから置かないと、事故の原因になります。

8. 本体をベースに取り付けて作業するときは、鋸刃を回転させたまま放置しないでください。

◆ 鋸刃を回転させたまま放置すると、事故の原因になります。

ご安全
注上の
意の

9. 材料に鋸刃を強くぶつけないでください。

- ◆ 鋸刃が破損し、事故やけがの原因になります。

10. 鋸刃を起動してから鋸刃を材料に当ててください。

- ◆ 鋸刃を起動してから当てないと、鋸刃が材料にかみ込み、キックバックが発生する危険があります。

11. 切断中、鋸刃に強い力を加えないでください。

- ◆ 鋸刃が滑ったり、破断したりして、けがの原因になります。

12. 切断が終わったらスイッチを切り、鋸刃が完全に停止するまで待ってから本体を材料から離してください。

- ◆ このようにならないと、キックバックが発生する危険があります。

13. スwitchを切った後、鋸刃の側面を押さえて止めないでください。

- ◆ 鋸刃が破損・破断したり、キックバックが発生したりする危険があります。

14. 作業直後の鋸刃や材料・切り粉は、高温になっていますので触れないでください。

- ◆ やけどの原因になります。

本製品について

用途

- ◆ パイプ（軟鋼・アルミニウム・銅・ステンレス鋼・高炭素鋼）、ケーブルの切断

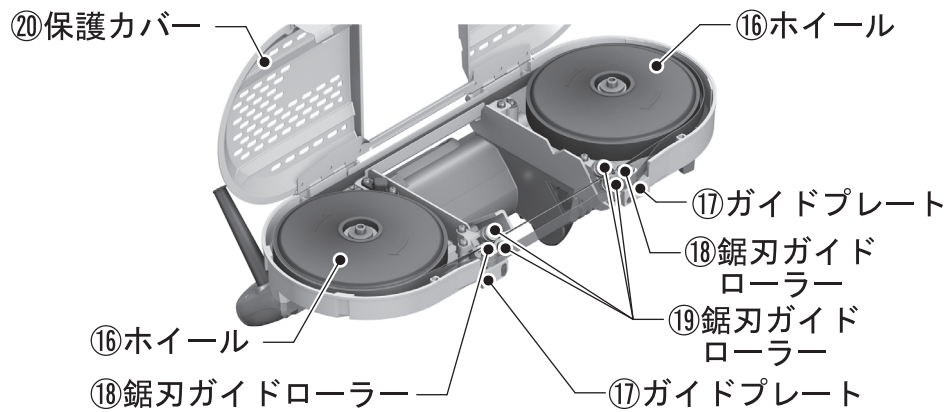
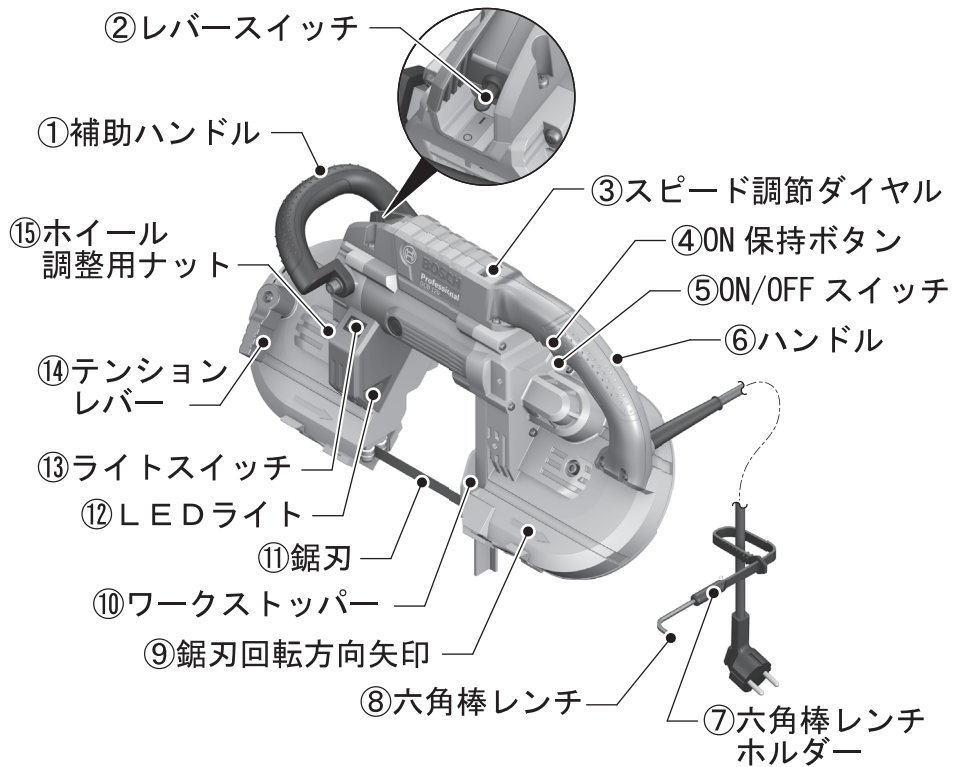
本製品は、バンドソー本体を携帯して自由切断や面一切断（際切り）が行えます。また、バンドソー本体をベースに取り付けて固定切断が行えます。

本製品について

各部の名称

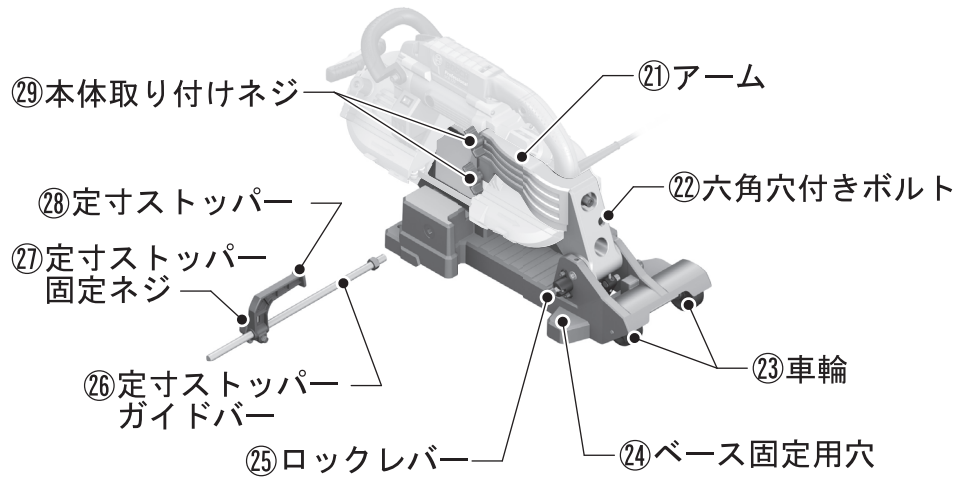
バンドソー本体

本製品にて

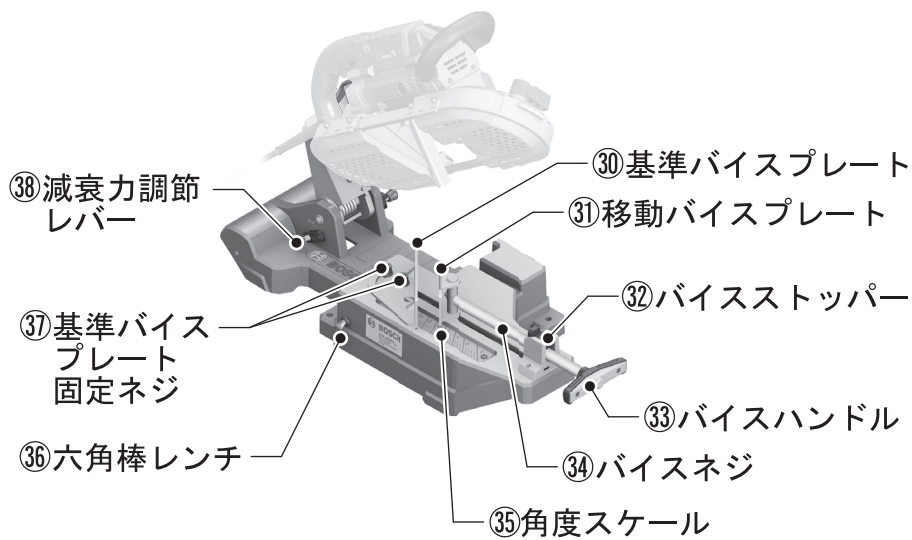


◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

ベース



本製品にて



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

本製品について

仕様

バンドソー本体

型番	GCB 120
電源	単相 AC100V 50/60Hz
消費電力	850W
鋸刃回転速度（無負荷時）	61~230min ⁻¹ （回転/分）
鋸刃寸法（長さ×幅×厚さ）	1140×12.7×0.5mm
最大切断寸法	
丸パイプ ○	φ 120mm
角パイプ □	120×120mm
質量*	6.4kg

※EPTA プロシージャー01/2014 に準拠

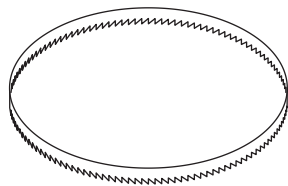
ベース

型番	GCB 120Base
最大切断寸法	
0°（直角）	丸パイプ ○ φ 115mm
	角パイプ □ 100×100mm
	□ 115×100mm
45°	丸パイプ ○ φ 50mm
	角パイプ □ 50×50mm
	□ 60×30mm
質量*	21.7kg

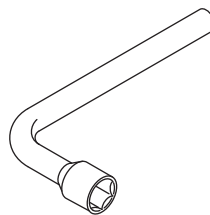
※EPTA プロシージャー01/2014 に準拠

標準付属品

バンドソー本体に付属



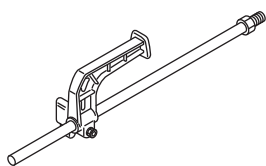
鋸刃



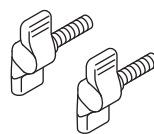
L形レンチ

本製品
に
付属
する

ベースに付属



定寸ストッパー



本体取り付けネジ

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

作業前の準備をする



警告

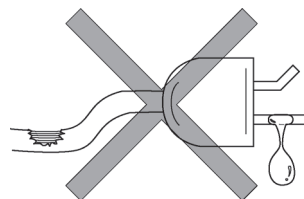
- ◆ 作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



使 い 方

● 使用電源を点検する

- 単相 AC100V (50/60Hz) か？
- コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していないか？

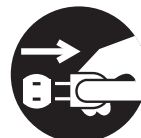


● 鋸刃⑪を取り付ける・取り外す



警告

- ◆ けがの発生を防ぐため、鋸刃⑪を取り付けたり、取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



注意

- ◆ 作業直後の鋸刃⑪は高温になります。冷めてから、鋸刃⑪を取り外してください。
- ◆ 鋸刃⑪は歯先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、革手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 鋸刃⑪を取り付けたり、取り外したりするときに、鋸刃⑪が飛び跳ねてけがをする恐れがあります。安全ゴーグルを着用してください。



ボッシュ純正の指定された鋸刃⑪を使用してください。



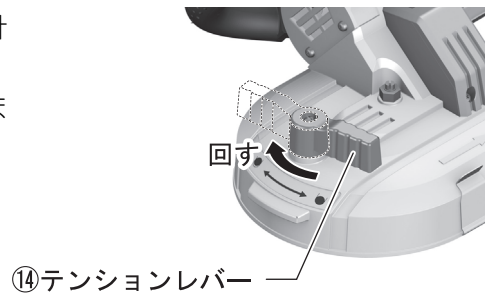
歯が欠けていたり、摩耗していたりする鋸刃⑪は使用しないでください。



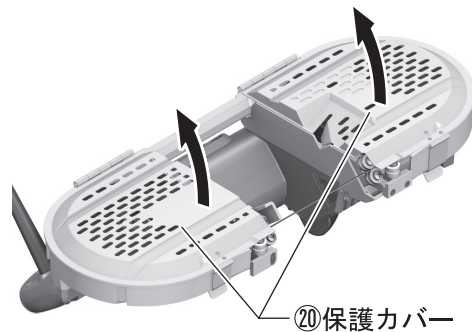
鋸刃⑪を交換するときは、鋸刃⑪を取り付ける前に、本体や鋸刃⑪に付いた切り粉や汚れをきれいに取り除いてください。

取り付け

1. テンションレバー⑭を時計方向（矢印の方向）に180°回し、テンションを緩めます。



2. 保護カバー⑳のフックを外に引き、保護カバー⑳を両側同時に開けます。



使
い
方



注意

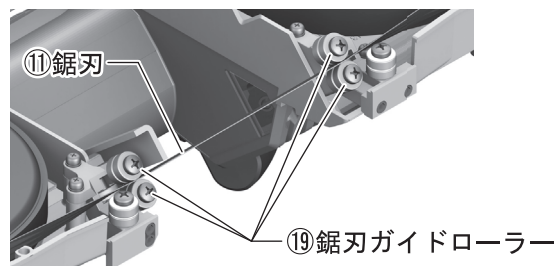
◆ 保護カバー⑳は左右一体になっています。片側だけ持って開けると、つなぎ部分がねじれて破損する恐れがあります。

3. 切断方法に応じて、鋸刃⑪を取り付けます。

自由切断・固定切断するとき

鋸刃⑪を背側から鋸刃ガイドローラー⑲の間に挿入します。

- ① 鋸刃⑪は背が鋸刃ガイドローラー⑲の奥（ベアリング）に突き当たるまで押し込んでください。
- ② 鋸刃⑪の向きに注意してください。



使
い
方

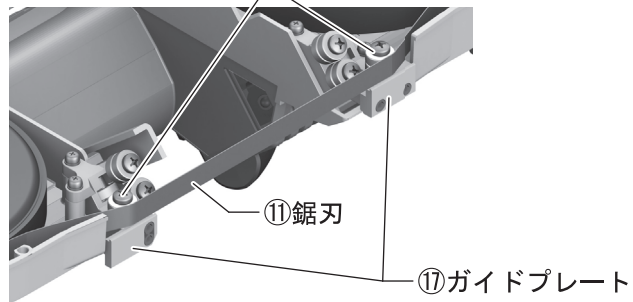
面一切断（際切り）するとき

鋸刃⑪を背側から鋸刃ガイドローラー⑱の前に挿入します。

☞ 鋸刃⑪は背がガイドプレート⑰に突き当たるまで押し込んでください。

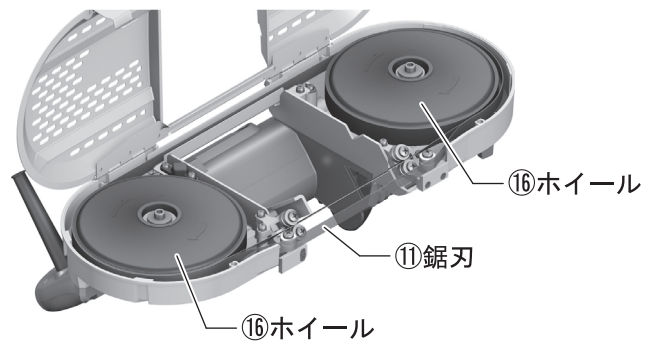
☞ 鋸刃⑪の向きに注意してください。

⑱鋸刃ガイドローラー




4. 鋸刃⑪が外れないように押さえながら、ホイール⑱に鋸刃⑪を掛けま
す。

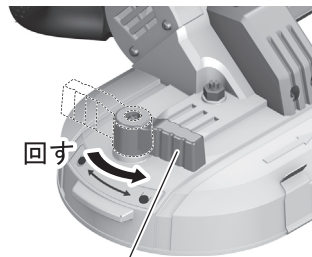
☞ 面一切断（際切り）する場合の位置に鋸刃⑪を取り付けるときは、自由
切断・固定切断する場合の位置に鋸刃⑪を取り付けるときより、鋸刃⑪
の遊びが少なくなります。そのため、鋸刃⑪を取り付けるときには、よ
り力をかける必要がありますので、その際に歯先でけがをしないように
注意してください。



5. テンションレバー⑭を反時計方向（矢印の方向）に 180° 回し、鋸刃⑪を張ります。

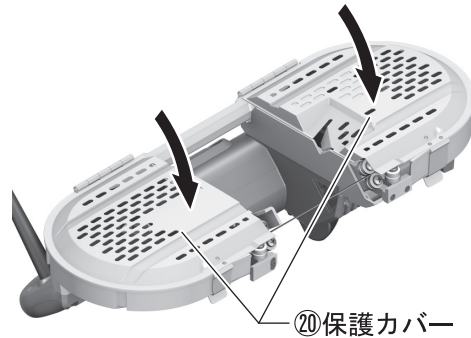
⚠ 注意 ◆ テンションレバー⑭を“張り”に切り替えるときは、鋸刃⑪に手が挟まれないように注意してください。

 鋸刃⑪を張るためにテンションレバー⑭を回すには、少し力が必要です。特に面一切断（際切り）する場合の位置に鋸刃⑪を取り付けるときは、テンションレバー⑭を確実に回してください。



⑭テンションレバー

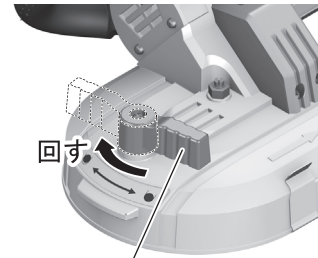
6. 鋸刃⑪がホイール⑯に正しく掛かっているか確認します。
7. 保護カバー⑳を閉め、フックを掛けます。



8. 電源の“ON” “OFF” を数回繰り返して、鋸刃⑪が正しく装着されているか確認します。
鋸刃⑪が安定して走行していない場合は、一度鋸刃⑪を取り外し、1項からやり直してください。

取り外し

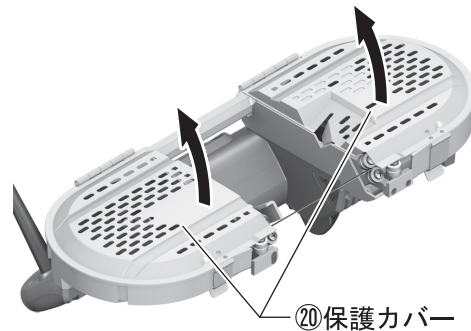
1. テンションレバー⑭を時計方向（矢印の方向）に180°回し、鋸刃⑪を緩めます。



⑭テンションレバー

注意 ◆ 鋸刃⑪を緩めるときにテンションレバー⑭が勢いよく回ることがあります。指をけがしないように注意してください。

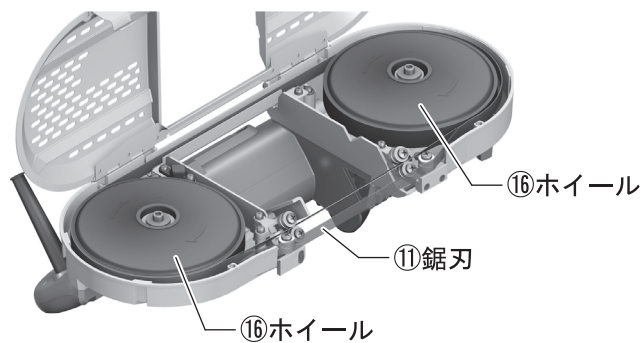
2. 保護カバー⑳のフックを外に引き、保護カバー⑳を両側同時に開けます。



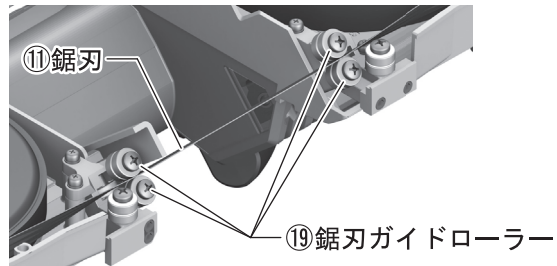
⑳保護カバー

注意 ◆ 保護カバー⑳は左右一体になっています。片側だけ持って開けると、つなぎ部分がねじれて破損する恐れがあります。

3. 鋸刃⑪をホイール⑯から外します。



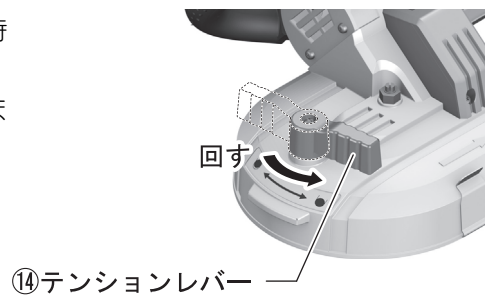
4. 鋸刃ガイドローラー⑱ (または⑱) から鋸刃⑩を引き出します。



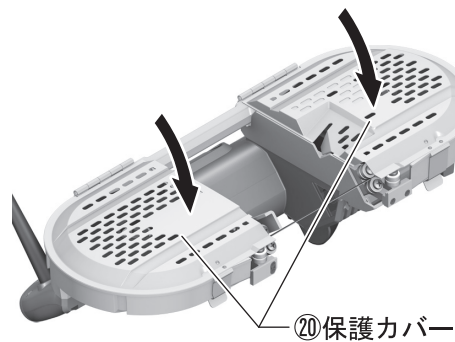
5. 新しい鋸刃⑩を取り付ける場合は、「取り付け」(17ページ)の3項～8項の手順で取り付けてください。

鋸刃を取り付けない場合は、以下の手順に従ってください。

6. テンションレバー⑭を反時計方向(矢印方向)に180°回し、テンションを張ります。



7. 保護カバー⑳を閉め、フックを掛けます。



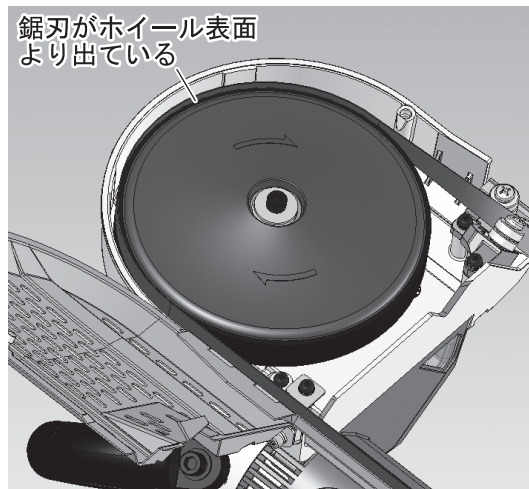
使
い
方

● 鋸刃⑪の位置を調整する

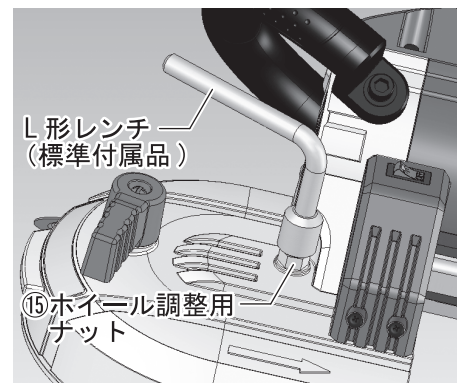
長時間使用すると、ホイールの摩耗により、鋸刃が回転中にホイールからずれることがあります。鋸刃がホイールからずれる場合は、ホイールの角度を調整して鋸刃のずれを防ぐことができます。

鋸刃が従動ホイール表面から 3mm 以上出ている場合

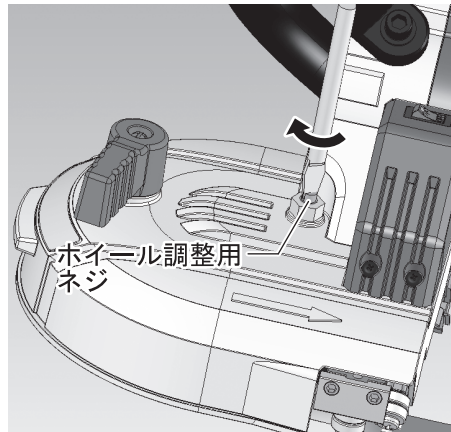
使
い
方



1. 付属の L 形レンチでホイール調整用ナット⑮を緩めます。

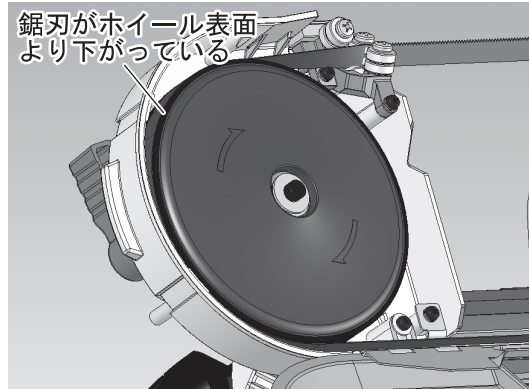


2. 「スピード調節ダイヤル③」を“1”（最低速）にします。
3. 鋸刃を起動します。
4. マイナスドライバーでホイール調整用ネジを時計方向に回して、鋸刃と従動ホイール表面の高さをそろえます。
5. 鋸刃を停止します。
6. L形レンチでホイール調整用ナット⑮を締めます。



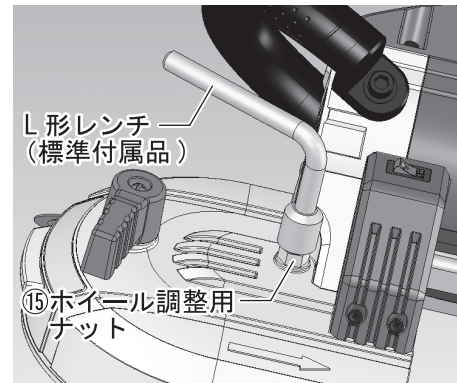
使
い
方

鋸刃が従動ホイール表面から 3mm 以上下がっている場合

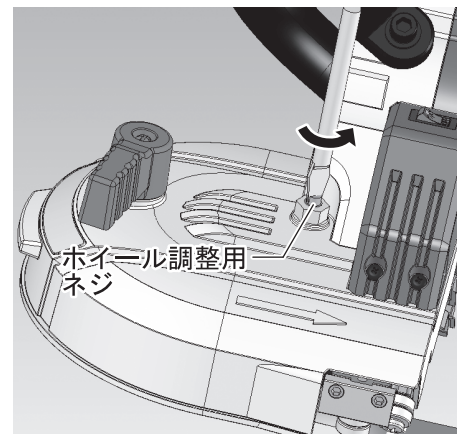


使
い
方

1. 付属の L 形レンチでホイール調整用ナット⑮を緩めます。



2. 「スピード調節ダイヤル③」を“1”（最低速）にします。
3. 鋸刃を起動します。
4. マイナスドライバーでホイール調整用ネジを反時計方向に回して、鋸刃と従動ホイール表面の高さをそろえます。
5. 鋸刃を停止します。
6. L 形レンチでホイール調整用ナット⑮を締めます。

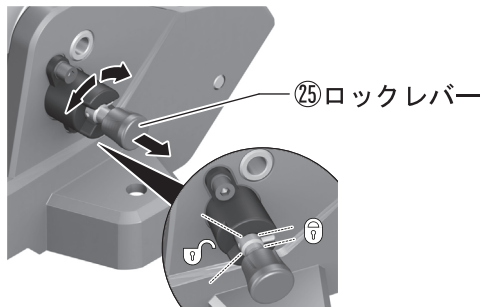


● バンドソー本体をベースに取り付ける

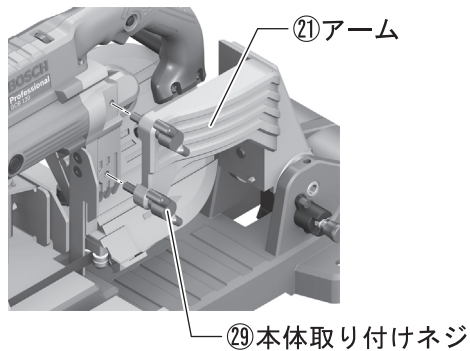
バンドソー本体をベースに取り付けて固定切断作業をする場合は、ベースをワークベンチなどの水平で安定した場所に設置してから、バンドソー本体をベースに取り付けてください。

- 警告**
- ◆ けがの発生を防ぐため、バンドソー本体をベースに取り付けたり、取り外したりするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ◆ ベースの質量は 21.7kg あります。運搬中に誤って落下させると、手や足を押し潰す恐れがあります。

1. ベースのアーム⑳を、運搬位置（水平）にします。
運搬位置になっていない場合は、ロックレバー㉕を引き出し、アーム㉑を運搬位置にして、ピンを小さい切り欠きに入れてアーム㉑をロックします。

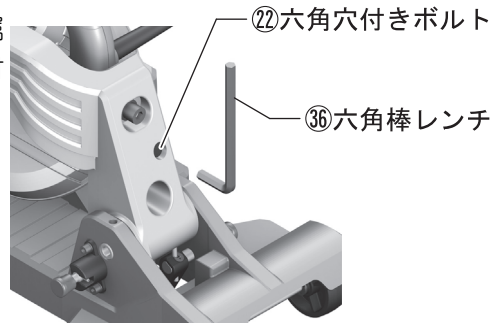


2. 本体取り付けネジ㉙（2つ）で、バンドソー本体をアーム㉑に固定します。



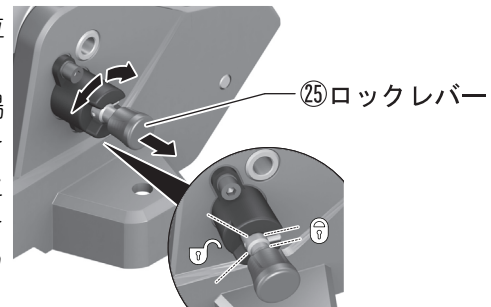
使
い
方

- 六角穴付きボルト⑳を付属の六角棒レンチ㉔で締め付けます。



ベースに取り付けたままバンドソー本体を運ぶ

- ベースのアーム㉑を、運搬位置（水平）にします。
運搬位置になっていない場合は、ロックレバー㉕を引き出し、アーム㉑を運搬位置にして、ピンを小さい切り欠きに入れてアーム㉑をロックします。



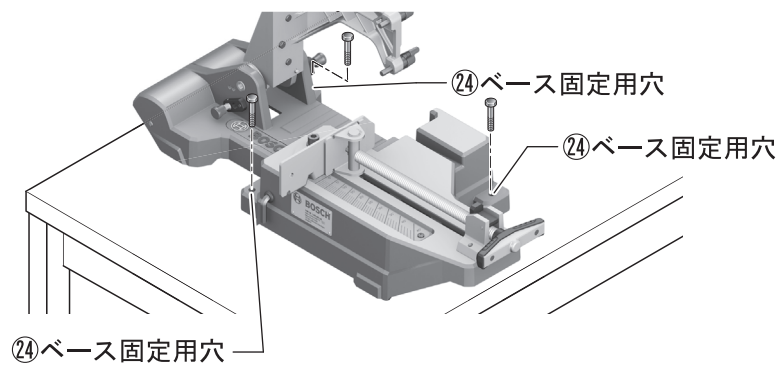
- バイスを閉じ、バイスハンドル㉓をしっかり締めます。
- バイスハンドル㉓を持ち、車輪㉒を使ってベースごと本体を作業場所に運びます。

使
い
方

ベースを固定する場合

警告 ◆ ベースの質量は 21.7kg あります。運搬中に誤って落下させると、手や足を押し潰す恐れがあります。

1. ベースを水平で安定した作業面に置きます。
2. ベース固定用穴②4に合ったボルト（3本）で、ベースを作業面に固定します。
☞ ベース固定用穴②4は、ベース固定専用です。



使
い
方

作業する

警告


- ◆ 作業時はバンドソー本体を確実に保持してください。
- ◆ 材料をしっかり固定してから作業を行ってください。
- ◆ 保護カバー⑳を開けたままで鋸刃㉑を起動させないでください。鋸刃㉑に身体を巻き込まれたり、鋸刃㉑が外れたりする恐れがあります。

注意

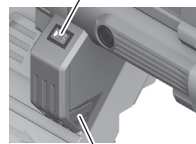
- ◆ 鋸刃㉑にテンションがかかっている（鋸刃が張られている）ことを確認してから作業を行ってください。
- ◆ 作業時、バンドソー本体は、軽く力を加えるだけで十分です。必要以上に強く押し付けると、鋸刃㉑を傷めて作業率が下がったり、本体が故障したりします。
- ◆ 新しい鋸刃㉑を取り付けた場合は、必ず試し切断をしてください。
- ◆ 熱軟化性プラスチックは切断しないでください。切断時の熱によって材料が溶けて、鋸刃㉑が材料に食い込む場合があります。
- ◆ 鉛を含んでいるコーティング、いくつかの種類木材、鋳物や金属、石綿などの材料から出る切り粉やほこりは、人体に有害です。
切り粉やほこりに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応を引き起こしたり、呼吸感染症に至ることがあります。また、カシやブナに使用される木材処理添加物（クロム酸塩、木材防腐剤）は、発ガン物質と考えられています。
身体に有害な切り粉などが発生する作業の場合には、防じん対策をしてください。

LED ライトをつける・消す

切断箇所が暗いときは、LED ライト⑫で照らすことができます。

「ライトスイッチ⑬」を“” (ON) にすると LED ライト⑫が点灯し、OFF にすると消灯します。

⑬ライトスイッチ



⑫LED ライト

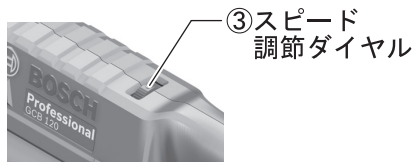
鋸刃の回転速度を調節する



注意

◆ 切断中は速度を変えないでください。バンドソー本体が損傷したり、鋸刃⑪が破断したりする恐れがあります。

使用鋸刃と切断材料に応じて、「スピード調節ダイヤル③」で鋸刃⑪の回転速度を調節します。「スピード調節ダイヤル③」を“1”にすると最低速になり、“6”にすると最高速になります。



③スピード調節ダイヤル

「スピード調節ダイヤル」の設定

材料	鋸刃の山数 (TPI = 1 インチ当たりの山数)			
	10 山	14 山	18 山	24 山
軟鋼、アルミニウム、銅、ステンレス鋼、高炭素鋼	6	6	5~6	5 以下
ケーブル	6	6	6	6


本体を持って自由切断をする

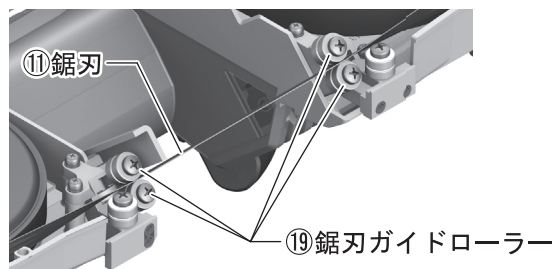


警告

- ◆ 両手でバンドソー本体を確実に保持し、足元をしっかりとってください。
- ◆ 作業中に鋸刃⑪をこねるようにしないでください。


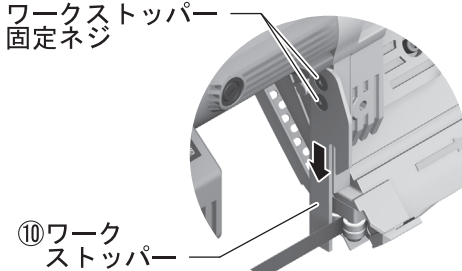
1 鋸刃の取り付け状態を確認する

 自由切断をするときは、鋸刃⑪を鋸刃ガイドローラー⑱の間に通します。



使
い
方

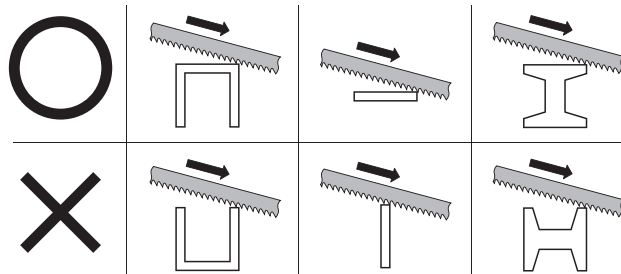
2 ワークストッパーの位置を調節する

1. 付属の六角棒レンチ⑧でワークストッパー固定ネジを緩めます。
2. ワークストッパー⑩をいちばん下まで下げます。
 材料の固定高さによっては、ワークストッパー⑩が作業面に当たり材料を完全に切断できない場合があります。そのような場合は、材料の固定高さに合わせて、ワークストッパー⑩の位置を調節してください。
3. ワークストッパー固定ネジ  を締めます。

3 材料を固定する

材料をクランプや万力などで、確実に固定します。

☞ 鋸刃⑪の歯が2山以上材料の切断面にかかるように、材料の向きを選定します。



4 電源プラグを電源コンセントに差し込む

「レバースイッチ②」が下 (O) になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

5 鋸刃を起動する

☞ 本体を持って作業するときは、「ON/OFF スイッチ⑤」で鋸刃⑪の起動/停止を行ってください。



1. 「レバースイッチ②」を上 (I) にします。
2. 「ON/OFF スイッチ⑤」を引いて保持します。
スイッチを引き込んでいる間、鋸刃⑪が回転します。

使
い
方

- 「ON/保持ボタン④」を押します。
「ON/OFF スイッチ⑤」がロックし、鋸刃⑪が回転し続けます。

鋸刃の停止

「ON/OFF スイッチ⑤」がロックしていないときは、「ON/OFF スイッチ⑤」から指を離すと、鋸刃⑪が停止します。

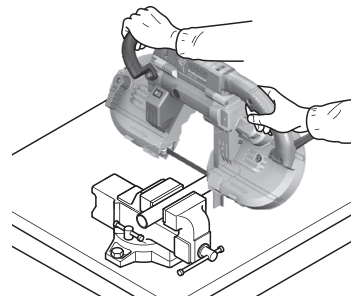
「ON/OFF スイッチ⑤」がロックしているときに鋸刃⑪を停止させる場合は、「ON/OFF スイッチ⑤」を引いて「ON 保持ボタン④」を解除し、その後「ON/OFF スイッチ⑤」から指を離します。

使
い
方

⑥ 切断する

☞ 適切な切断スピードで作業してください。

- ハンドル⑥と補助ハンドル①を確実に持ちます。
- ワークストッパー⑩に材料を当てます。



- ゆっくりと鋸刃⑪を材料に当てて切断します。
 - ☞ 鋸刃⑪の回転が鈍くならないように切断してください。無理に力を入れて強く押し込んでも早く切断できません。
 - ☞ 切断終了間際に、バンドソー本体を少し持ち上げるようにすると、切断した材料に鋸刃⑪が当たりません。
- 切断が終わったら鋸刃⑪を停止させます。
 - ☞ 鋸刃⑪の回転が完全に止まってから、バンドソー本体を床などに置いてください。

本体を持って面一切断（際切り）をする

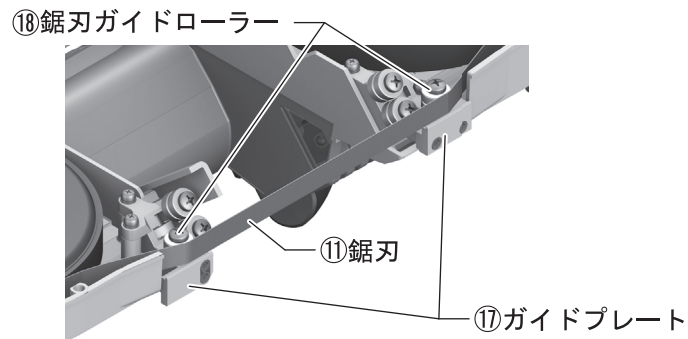


警告

- ◆ 両手でバンドソー本体を確実に保持し、足元をしっかりとってください。
- ◆ 作業中に鋸刃⑪をこねるようにしないでください。

1 鋸刃の取り付け状態を確認する

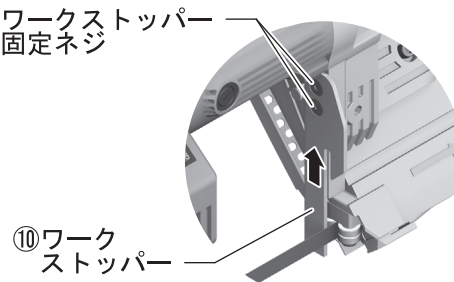
☞ 面一切断（際切り）をするときは、鋸刃⑪を鋸刃ガイドローラー⑩の外側に通します。



使
い
方

2 ワークストッパーの位置を調節する

1. 付属の六角棒レンチ⑧でワークストッパー固定ネジを緩めます。
2. ワークストッパー⑩を、作業環境に応じて適切な位置に設定します。
3. ワークストッパー固定ネジ **ワークストッパー固定ネジ** を締めます。

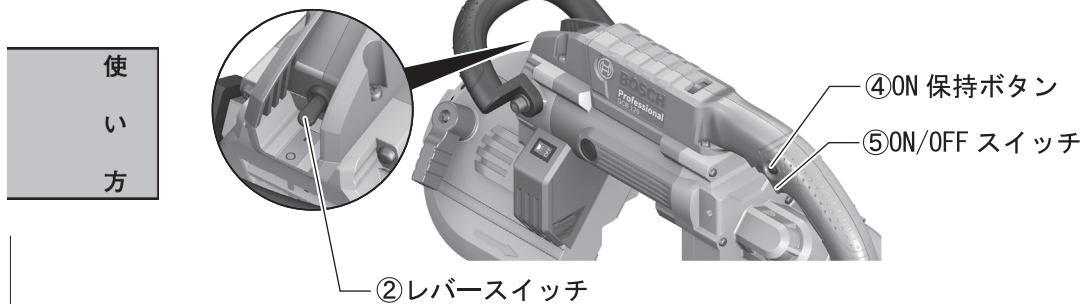


3 電源プラグを電源コンセントに差し込む

「レバースイッチ②」が下 (O) になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

4 鋸刃を起動する

 本体を持って作業するときは、「ON/OFF スイッチ⑤」で鋸刃①の起動/停止を行ってください。



1. 「レバースイッチ②」を上 (I) にします。
2. 「ON/OFF スイッチ⑤」を引いて保持します。
スイッチを引き込んでいる間、鋸刃①が回転します。
3. 「ON 保持ボタン④」を押します。
「ON/OFF スイッチ⑤」がロックし、鋸刃①が回転し続けます。

鋸刃の停止

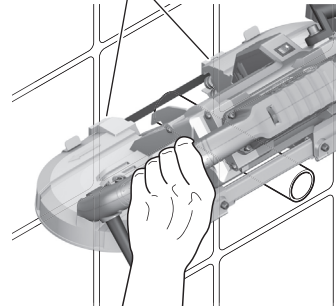
「ON/OFF スイッチ⑤」がロックしていないときは、「ON/OFF スイッチ⑤」から指を離すと、鋸刃①が停止します。

「ON/OFF スイッチ⑤」がロックしているときに鋸刃①を停止させる場合は、「ON/OFF スイッチ⑤」を引いて「ON 保持ボタン④」を解除し、その後「ON/OFF スイッチ⑤」から指を離します。

5 切断する

- ☞ 鋸刃⑩の歯が2山以上材料の切断面にかかるようにします。
- ☞ 適切な切断スピードで作業してください。

1. ハンドル⑥と補助ハンドル ⑩ガイドプレート
①を確実に持ちます。
2. ガイドプレート⑩を壁に押し当てます。



3. ゆっくりと鋸刃⑩を材料に当てて切断します。
 - ☞ 鋸刃⑩の回転が鈍くならないように切断してください。無理に力を入れて強く押し込んで早く切断できません。
 - ☞ 切断終了間際に、バンドソー本体を少し持ち上げるようにすると、切断した材料に鋸刃⑩が当たりません。
4. 切断が終わったら鋸刃⑩を停止させます。
 - ☞ 鋸刃⑩の回転が完全に止まってから、バンドソー本体を床などに置いてください。

使
い
方


本体をベースに取り付けて固定切断をする

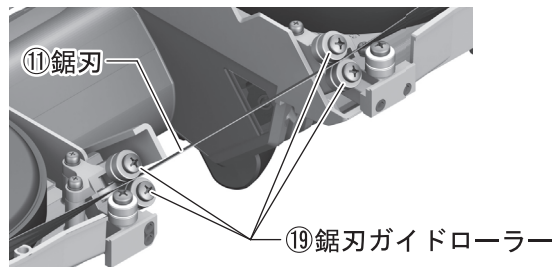


警告

- ◆ バンドソー本体の前には立たないでください。常にバンドソー本体の横に立ってください。
- ◆ 片手で補助ハンドル①を持ち、ゆっくりと切断してください。

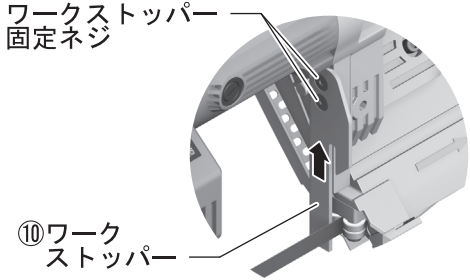
① 鋸刃の取り付け状態を確認する

 固定切断をするときは、鋸刃⑪を鋸刃ガイドローラー⑱の間に通します。



使
い
方

② ワークストッパーの位置を調節する

1. 付属の六角棒レンチ⑧でワークストッパー固定ネジを緩めます。
2. ワークストッパー⑩をいちばん上まで上げます。
3. ワークストッパー固定ネジ  を締めます。

⑩ワーク
ストッパー

3 切断角度を設定する

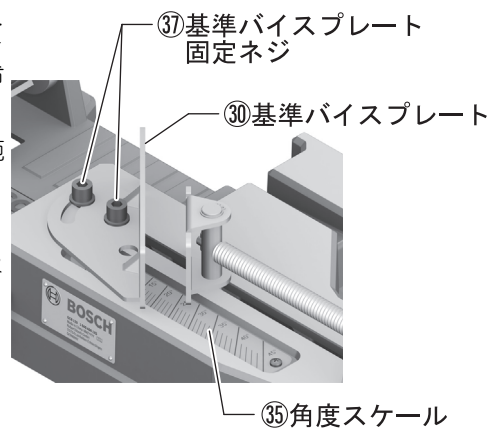
1. 必要に応じて移動バイスプレート⑳を後ろに動かしてバイスを開きます。
☞ バイスストッパー㉔を後ろに倒してバイスネジ㉓から外すと、移動バイスプレート㉑が自由に前後できます。

2. 付属の六角棒レンチ㉖で基準バイスプレート固定ネジ㉗を緩めます。

3. 角度スケール㉙に合わせて基準バイスプレート㉑を希望の角度に設定します。

☞ 切断角度は 0~45° の範囲で設定できます。

4. 基準バイスプレート固定ネジ㉗を締めます。



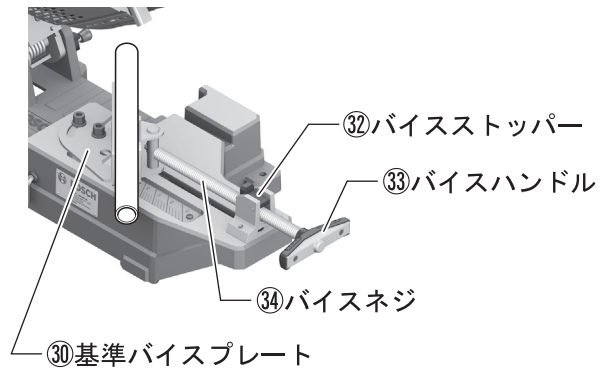
4 材料を固定する

- ☞ 鋸刃①の歯が2山以上材料の切断面にかかるように、材料の向きを選定します。
- ☞ 小さくて固定できない材料は切断しないでください。
- ☞ 長い材料は、材料後部の下に台などを置いて支えてください。

1. 材料を基準バイスプレート㉑に当てて置きます。

2. 移動バイスプレート㉑を前に動かして材料を挟みます。

3. バイスストッパー⑳を前に倒してバイスネジ㉑に掛け、バイスハンドル㉒を回して材料をしっかり固定します。



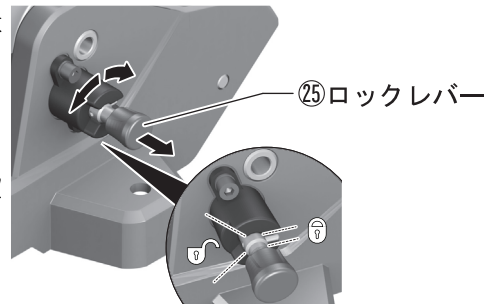
使
い
方

5 電源プラグを電源コンセントに差し込む

「レバースイッチ②」が下 (○) になっていることを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

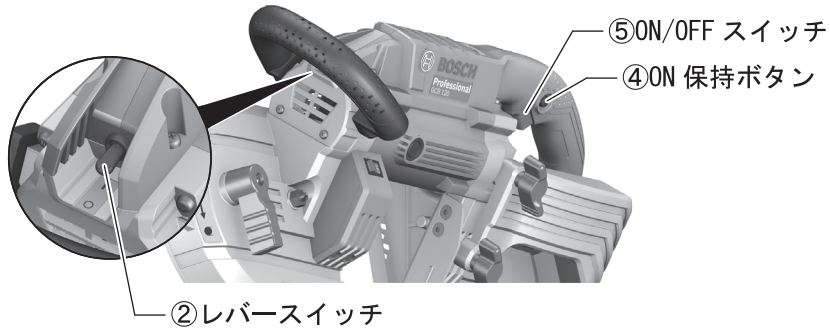
6 アームのロックを解除する

1. 補助ハンドル①を持って本体を支えます。
2. ロックレバー㉕を引き出し、回してピンを大きい切り欠きに入れます。



7 鋸刃を起動する

- ☞ 本体をベースに固定して作業するときは、「レバースイッチ②」で鋸刃⑩の起動／停止を行ってください。



1. 「ON/OFF スイッチ⑤」を引きながら、「ON 保持ボタン④」を押します。
2. 「レバースイッチ②」を上 (I) にします。
鋸刃⑩が回転します。

使
い
方

鋸刃の停止

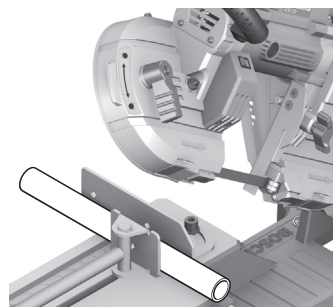
「レバースイッチ②」を下 (O) にすると鋸刃⑩が停止します。

8 切断する

- ☞ 適切な切断スピードで作業してください。

1. ゆっくりと鋸刃⑩を材料に当てて切断します。

- ☞ 鋸刃⑩の回転が鈍くならないように切断してください。無理に力を入れて強く押し込んでも早く切断できません。



2. 切断が終わったら「レバースイッチ②」を下 (O) にして鋸刃⑩を停止させます。

- ☞ 鋸刃⑩の回転が完全に止まるまで待ってください。

3. 補助ハンドル①を持って本体をゆっくり上げます。

アームの減衰力を調節する

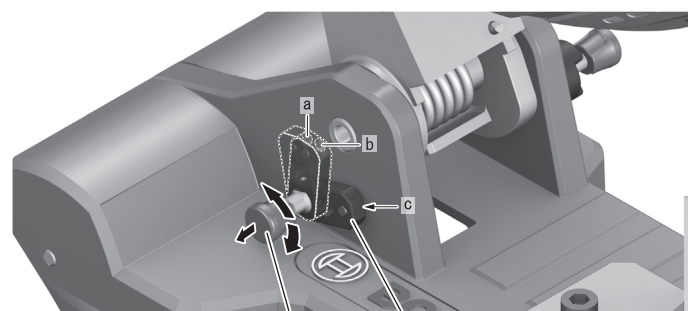
減衰力調節レバー⑳を使用し、アーム㉑のスプリング減衰力を調節できます。減衰力調節レバー⑳を引き出し、減衰力調節プレートのピンが希望の穴に入るように減衰力調節レバー⑳を回します。

穴 a：減衰力 強

穴 b：減衰力 中

穴 c：減衰力 弱

使
い
方

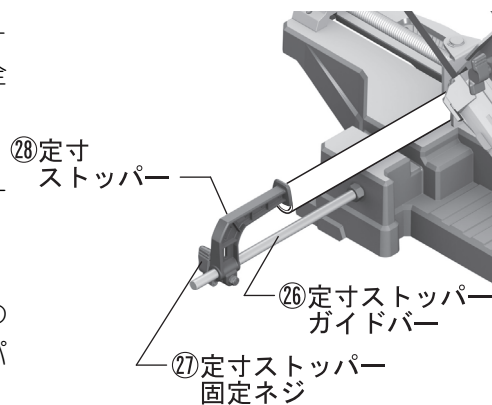


減衰力調節プレート
㉑減衰力調節レバー

材料を同じ長さに切断する

切断角度が 0° の場合、定寸ストッパー㉒を使用すると、容易に材料を同じ長さに切断できます。

1. 定寸ストッパーガイドバー㉒をベースのネジ穴に完全にねじ込みます。
2. 適切なサイズのスパナでナットを締めます。
3. 定寸ストッパー㉒を希望の長さに合わせ、定寸ストッパー固定ネジ㉓で固定します。



困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「レバースイッチ②」と「ON/OFF スイッチ⑤」をオンにしても、作動しない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに差し込む
	カーボンブラシが摩耗している	修理を依頼する
	電源コードが断線している	修理を依頼する
切断に時間がかかる	鋸刃①が摩耗している	鋸刃①を交換する
	使用電源の電圧が低い	100V の電源を使う

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

困ったときは

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

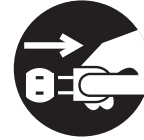
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管




警告

◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。




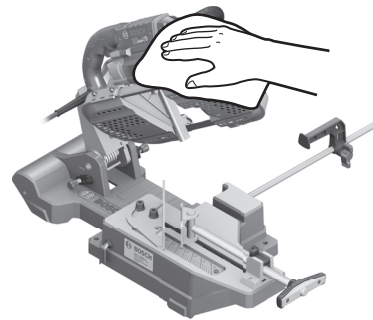
クリーニング

- バンドソー本体や鋸刃⑪などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

 通風口から吸い込んだ金属の粉じんが本体内部にたまると、絶縁が損なわれる恐れがあります。

- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れを拭き取る

 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保
お
手
入
れ
と
管

鋸刃のお手入れ



注意

◆ 鋸刃⑪は、歯先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、革手袋を着用してください。

- 鋸刃⑪に付着した切り粉、ホコリを取り除く。

保 管

● バンドソーを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- 長期間保管する場合は、鋸刃を取り外して保管してください。

